

めざす子ども像や育てたい力について話し合っています ～「学校・地域連携カリキュラム」の活用に向けて～



「学校・地域連携カリキュラム」って？

文部科学省が定める学習指導要領では、学校の教育課程(カリキュラム)の編成に関して次のように示されています。

教育課程の編成に当たっては、学校教育全体や各教科等における指導を通して**育成を目指す資質・能力**を踏まえつつ、各学校の教育目標を明確にするとともに、教育課程の編成についての**基本的な方針が家庭や地域とも共有される**よう努めるものとする。

この趣旨を踏まえ、県では、「学校・地域連携カリキュラム」を「**社会に開かれた教育課程の視点をもとに、学校と地域が連携・協働する教育活動を体系的に示したカリキュラム**」としています。学校・地域で「**どのような子どもを育て、そのためには、どのような教育活動を行っていくか**」を明確にし、**学校と地域をつなぐ**ツールとなります。市内の各学校でも、より一層の充実をめざしています。

「学校・地域連携カリキュラム」の内容

ビジョン 学校の基本方針を示す
グランドデザイン

- 各学校や中学校区の教育目標
- 育てたい子どもの姿や育成をめざす資質・能力
- 学校や地域の課題 など

設計図 総合的な学習の時間を核とした
9年間の単元配列表

- 学校や地域の実態に応じた探究課題
- 総合的な学習の時間と各教科等との関連

家庭や地域との共有

市内の各学校や中学校区で子どもや教職員、また地域の方や保護者が参加し、めざす子ども像や育てたい力について話し合いが行われています。

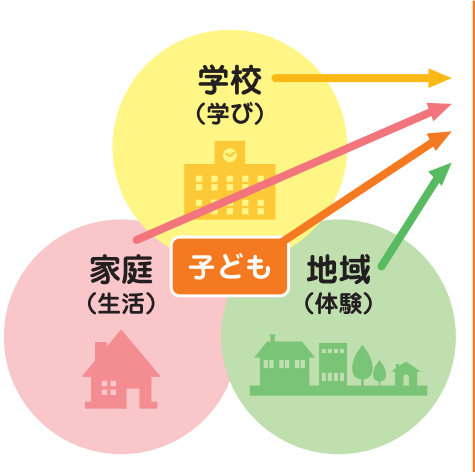


話し合われた内容をもとに、学校では、「学校・地域連携カリキュラム」を作成しています。

令和4年度 学校・地域連携カリキュラム		下松市立 小学校		2022.2.21現在	
めざす児童生徒像					
ふるさとを愛し、心豊かでたくましく生きる 子					
【資質・能力】		【知】自ら考え、表現する力【A】		【徳】自らを律し、挑戦する力	
【知】自ら考え、表現する力【A】		【徳】自らを律し、挑戦する力		【体】自らを律し、挑戦する力	
1年	○総合的な学習の時間(総合的な学習の時間)	○総合的な学習の時間(総合的な学習の時間)	○総合的な学習の時間(総合的な学習の時間)	○総合的な学習の時間(総合的な学習の時間)	○総合的な学習の時間(総合的な学習の時間)
2年	○総合的な学習の時間(総合的な学習の時間)	○総合的な学習の時間(総合的な学習の時間)	○総合的な学習の時間(総合的な学習の時間)	○総合的な学習の時間(総合的な学習の時間)	○総合的な学習の時間(総合的な学習の時間)

子どもや地域の方の意見を聞きながら、毎回、見直しをしていきます。

コミュニティ・スクールって？



みんなで知恵やアイデアを出し合います

*学校・家庭・地域の3つの立場の代表者が集まって話し合います。これを**学校運営協議会**と呼んでいます。**学校運営協議会**を設置している学校が**コミュニティ・スクール(CS)**です。

- どんな学校をめざすか
- どんな子どもを育てるか
- そのために3者でどんな連携・協力をすればよいか

など、子どもたちや学校や地域のことについて意見を出し合います。時には、子どもたちも話合いに参加し、一緒に考えます。

- *3者の思いを共有し、めざす目標をはっきりさせます。
- *同じ目標に向かって学校と家庭と地域が深くかわり、連携して“**地域とともにある学校**”の実現をめざしています。
- ***下松市では、すべての小学校・中学校・高等学校がコミュニティ・スクールです。**

地域と学校はパートナー ～学校も地域も 大人も子どもも みんなが元気になる～



地域住民 自治会 公民館 社会教育関係団体 スポーツ・文化団体 社会福祉協議会 児童クラブ
放課後子ども教室 連合婦人会 更生保護女性会 家庭教育支援チーム 大学 企業NPO等 市役所各課など

子どもたちを取り巻く全ての人が**子育てと地域づくりの関係者**です

子どもたちも「市総合計画子ども版」でまちづくりを学んでいます ～『くだまつ愛』で 未来へつなぐ 安全安心なまち～

下松市では、将来の下松を担う子どもたちが、自分たちができる「まちづくり」や未来の下松市を考えるきっかけになるように「下松市総合計画子ども版」を作成しました。



子どもたちは、学校で子ども版を読んで、まちづくりの様々な取組に関心をもち、ふるさとを知ること自分たちができることを考えています。これからも暮らしやすく、ずっと住みたいと思えるまちにするために、子どもから大人までみんなが「自分たちのまちは自分たちでつくる」という意識をもって、まちづくりに取り組むことが大切です。コミュニティ・スクールにおいても、地域とともにある学校づくりを進めるために、下松市のまちづくりや地域課題の解決、そして未来に向けて、学校・家庭・地域が思いを共有し、一緒になって考えるツールとして、子ども版を活用してみませんか。

下松市の コミュニティ・スクール

～地域とともにある学校づくり 学校を核とした地域づくり～



2022年3月
下松市教育委員会